

かいじあむワークシート② 初級 展示編

小 年 名前

山梨県立博物館には、昔の物がいっぱいあります。それぞれの問題の右側に縦書きで書いてあるのが、コーナー番号と、コーナー名ですので、立て看板の赤い矢印に従って進みましょう。①～⑮の展示物をさがし、見つけられたら、()に○をつけ、よく説明を読みましょう。(そこが一番大事です！)

見つけられた問題は、**全15問中** 問 でした！



① 自然の森の中で

① 縄文土器 ()
木の実を煮炊きしたり、保存したりするために使いました。今から、4500年くらい前のものです。



② 甲斐の誕生

② 鬼瓦 ()
1250年くらいのお寺の屋根につけられていました。魔よけのために、こわい顔をしています。



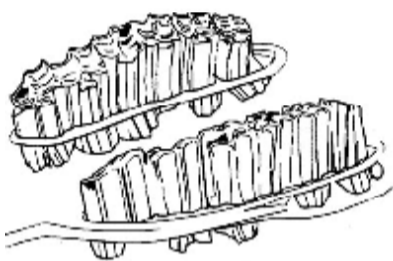
② 甲斐の誕生

③ 木簡(木の札) ()
紙が貴重品だった時代は、木に字を書いて荷札などに使いました。



③ 甲斐の黒駒

④ 鎧・兜 ()
1500年前ころの身分の高い人のお墓から出てきた、鉄の鎧や兜です。



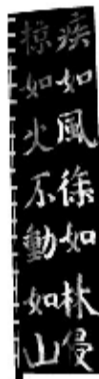
③ 甲斐の黒駒

⑤ 馬の歯 ()
1600年前ころ、馬は中国から伝わりました。大きさは今のポニーくらいでした。



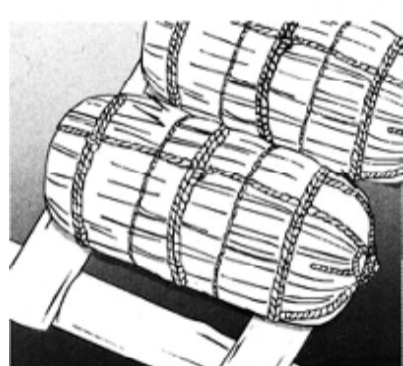
④ 水に取り組む

⑥ お祭りで使う人形 ()
洪水が来ないようにお祈りするお祭りで使われます。お祭りの中で、人形をあやつって踊りを演じます。



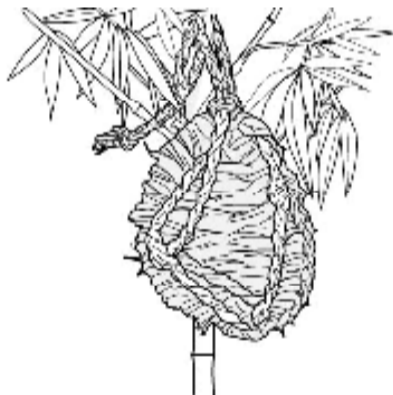
⑥ 甲斐を駆ける武士たち

⑦ 孫子の旗 ()
風林火山の旗とも呼ばれます。武田信玄の旗印でした。
裏面に続く →



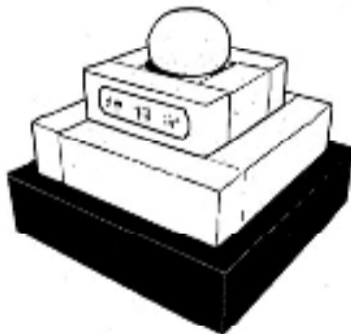
⑦ 川を彩る高瀬舟

⑧ 米俵 ()
米俵1俵は約60kgです。大人ひとりが食べる、5ヶ月分のお米が入っていました。



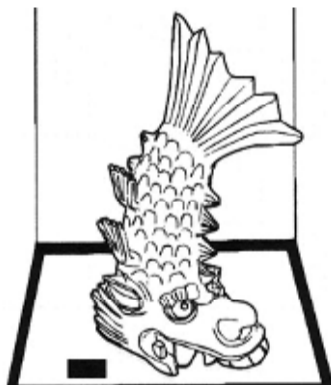
⑮ 里に暮らす

⑨ 馬のわらじ ()
稲わらを編んで作った馬の靴です。



⑮ 里に暮らす

⑩ 道祖神 ()
村境や道を災いから守る神様です。主に小正月の際に、お祭りが行われます。



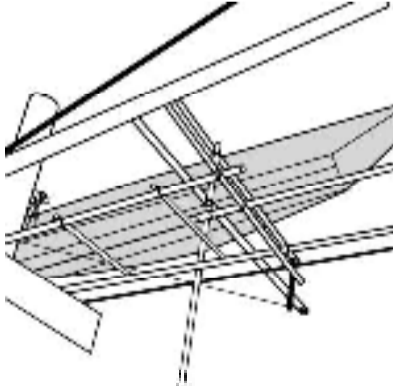
⑯ 城下町の賑わい

⑪ 金の鱈瓦 ()
甲府城の城跡から発掘されました。鱈は海の生き物で、火事を防ぐおまじないの役目をしていました。



⑰ 明治40年の大水害

⑫ 蓄音機 ()
今のCDプレーヤーのような音楽をかける機械です。「レコード」というものをのせて音楽を聞きました。



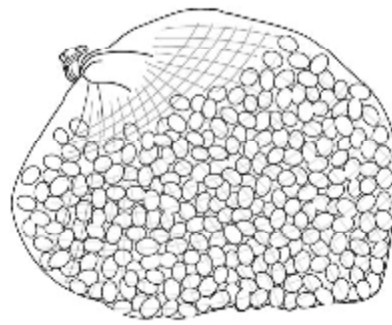
⑰ 明治40年の大水害

⑬ 舟 ()
水害に備えて屋根の下に舟をつけた家もありました。実際の洪水の時には避難のために使いました。



体験工房 保存の現場

⑭ お蔵 ()
家の宝物などを火事や泥棒などから守るための、厚い土壁の建物です。



体験工房 重さの現場

⑮ 繭 ()
「蚕」という蛾の幼虫が糸を吐いて作ります。絹の原料です。最初に戻って、自己採点しよう！